

SV/Miraieの訪問主旨について

2018 Mar.14

JAMMNETメンバーの皆さんへ

今日は三浦半島南端の城ヶ島からOKNにチェックINしたあと、SV/「みらいへ」が寄港する三崎港に向き訪問して航海士の盛さんとお話が出来ました。

【SV/「Miraie」230Ton・170Feet3本マスト・トップスルスクーナー(旧SV/「あこがれ」)】

SV/「みらいへ」は、以前は大阪市が所有する帆船でしたが、5年前に民間に移譲され、現在、日本で唯一、多くの一般人が乗船できるセールトレーニングShip(帆船)として活躍しています。最近ではタモリカップヨットレースの旗艦としてもヨットマンにもお馴染みです。以前、10年程前、SV/「あこがれ」の時代は航海士の久下さんやJE1EMT岩井さんがJAMMNETにINされていましたが、残念ながらその後の継続チェックインは途絶えていました。

今回の主旨は以前より頂いたアイデアではありますが、「みらいへ」がセールトレーニングで神戸～横浜を中心として日本の各港を訪問していたり、世界周航をされていることについてその航海の途中、我々のJAMMNETにHamRadio通じて、レギュラーリレーMM局として、INして戴けないかとのお話をしてきました。そして、できる事なら我々のJAMMNETに参加する国内外の各MM局にあって、気象情報等の航海情報をリレー頂ける中心的シンボルSV・MM局として、小型艇の航行支援活動でもあるMMNETにボランティアとして参加してもらえないかと、こちらから依頼をしました。

この事は、先方事業者サイドは、無線を通じセールトレーニングShip事業の発展的活動をアピールでき、多くのヨットマンやアマチュア無線家からも帆船「みらいへ」の認知度UPにもつながることでもあり、また、具体的に船内アマ無線クラブ局運営が出来れば、都度参加される多くのセールトレーニの方々にもアマ無線により航海状況を通信連絡をする事になり、良い体験航海の印象が残されると思われます。

また、我々のJAのMMNETの活動においても「みらいへ」が加わってもらうことによってMMNET全体のアクティビティーUPにもつながり、今後、参加局も増えNETワークも、より安定的機能を維持出来ると思われ、更なる小型艇の航行安全確保への社会貢献活動において認知度UPにもなり得ると思われ、それゆえ、この事は双方プラスになる提案ではないであろうかと説明をさせて頂きました。そして、必要であれば私からアマ無線のRigの提供も可能である旨を伝えました。

以前、SV／シレナの故大儀見さん(140f・帆船海星のシンジケートファウンダーマン。(FYI: 帆船海星はその後、USの民間自然団体の海洋調査船となり、ハワイ沖の東日本大震災フロートデブリの調査で大きな成果を出している様です。))にも同じようなお話をした時がありましたが、残念ながら氏の逝去とともに断ち切れました。

今回はJAMMNETの普及・広報的役割の中で訪問しお話ししたものです。先方から何らかのお話があればまた皆さんにお伝えしたいと思います。また、この件、もしくはこれ以外でも、皆さんからの更なるJAMMNETの発展とアクティビティーUPになるような、前向きなお考え等をお持ちであれば是非ともお聞かせ下さい。皆でJAMMNETをより良き方向へ具現化する努力をしてみましよう。 Best 73s

JAMMNET(SGN OKN)広報担当 jh1lsa Taka HONMA Yokosuka

FYI: SV／Miraieの運行者 一般社団法人 グローバル人材育成推進機構について
<http://www.miraie.org/>

FYI: 写真-1は三崎港のドックでお会いしたSV／Miraieの航海士、盛さんとのスナップです。
写真-2は三浦半島南端、宮川フィッシャリーナ沖を三崎港に向けアンダウエー中のSV／Miraie。



写真-1



写真-2